

# 2018年米中間選挙 一世論、支持者の動向一

2018年11月27日

宮田智之(帝京大学)

## 歴史的な盛り上がり

- 支持政党に関係なく高い関心。直前の世論調査では民主党支持者の68%、共和党支持者の64%が、「投票に非常に熱意をもっている」と回答。
- 期日前投票の数は、3900万票に達した(2014年:2700万票)。
- アメリカ選挙プロジェクトによると、今回投票率は50年ぶりの高い水準となる、49.4%(前回2014年は36.7%)。
- 25州で投票率は50%超え。ミネソタ(64.3%)、コロラド(62.7%)、オレゴン(61.5%)、モンタナ(62.1%)、ウィスコンシン(61.2%)。

| CNN世論調査  | 民主党支持者 | 共和党支持者 |
|----------|--------|--------|
| 11/1-3実施 | 68%    | 64%    |
| 10/4-7実施 | 62%    | 53%    |
| 9/6-9実施  | 55%    | 50%    |

出典: CNNの世論調査をもとに作成

## 出口調査(1)

- ・トランプ大統領の圧倒的存在感。投票する意味として、「トランプ大統領」を挙げた割合は6割以上。「トランプを支持するため投票」が26%。「トランプに反対するため投票」が38%。(2014年:オバマを挙げた割合は4割程度)。
- ・トランプ大統領の支持率は、45%。しかし、共和党支持層に限ると、トランプ大統領の支持率は88%へ跳ね上がる。

| 【投票の意味】                    | 民主党 | 共和党 |
|----------------------------|-----|-----|
| トランプを支持する<br>するため<br>(26%) | 4%  | 95% |
| トランプに反対<br>するため<br>(38%)   | 94% | 4%  |
| トランプは要因<br>ではない<br>(33%)   | 44% | 52% |

| 【大統領支持率】     | 民主党 | 共和党 |
|--------------|-----|-----|
| 支持<br>(45%)  | 11% | 88% |
| 不支持<br>(54%) | 90% | 8%  |

## 出口調査(2)

- ・その他の項目においても、「アメリカ有権者の分断」が見て取れる。
- ・「アメリカが直面する最も重要課題」という項目では、①医療保険、②移民、③経済、④銃規制、であった。ただし、何を重視するかは支持政党によって異なり、民主党支持者は「医療保険」を、共和党支持者は「移民」をそれぞれ特に重視。
- ・「経済の状況」についても、民主党支持者、共和党支持者で評価が割れている。
- ・「国の方向性」の項目においても同様の結果。

| 【最重要課題】   | 民主党 | 共和党 |
|-----------|-----|-----|
| 医療保険(41%) | 75% | 23% |
| 移民(23%)   | 23% | 75% |
| 経済(22%)   | 34% | 63% |
| 銃規制(10%)  | 70% | 29% |

| 【経済状況】  | 民主党 | 共和党 |
|---------|-----|-----|
| 良い(68%) | 39% | 60% |
| 悪い(31%) | 83% | 14% |

| 【国の方向】           | 民主党 | 共和党 |
|------------------|-----|-----|
| 良い方向に向かっている(42%) | 13% | 86% |
| 悪い方向に向かっている(54%) | 85% | 13% |

## 出口調査(3)

- ・民主党、共和党それぞれに投票した有権者を見ると、従来通り、民主党は、女性、黒人やヒスパニックらマイノリティ、若者から厚い支持。特に今回、女性の民主党支持が増加(2014年:51%)。若年層(18-29歳)の民主党支持も一層色濃く(2014年:54%)。
- ・共和党は男性、白人、中高年層から支持。白人福音派は、共和党の安定した支持基盤。

( ): 2016年の出口調査

| 【性別】    | 民主党      | 共和党      |
|---------|----------|----------|
| 男性(48%) | 47%(41%) | 51%(52%) |
| 女性(52%) | 59%(54%) | 40%(41%) |

| 【年齢】            | 民主党      | 共和党      |
|-----------------|----------|----------|
| 18-29歳<br>(13%) | 67%(55%) | 32%(36%) |
| 30-44歳(22%)     | 58%(51%) | 39%(41%) |
| 45-64歳(39%)     | 49%(44%) | 50%(52%) |
| 65歳以上<br>(26%)  | 48%(45%) | 50%(52%) |

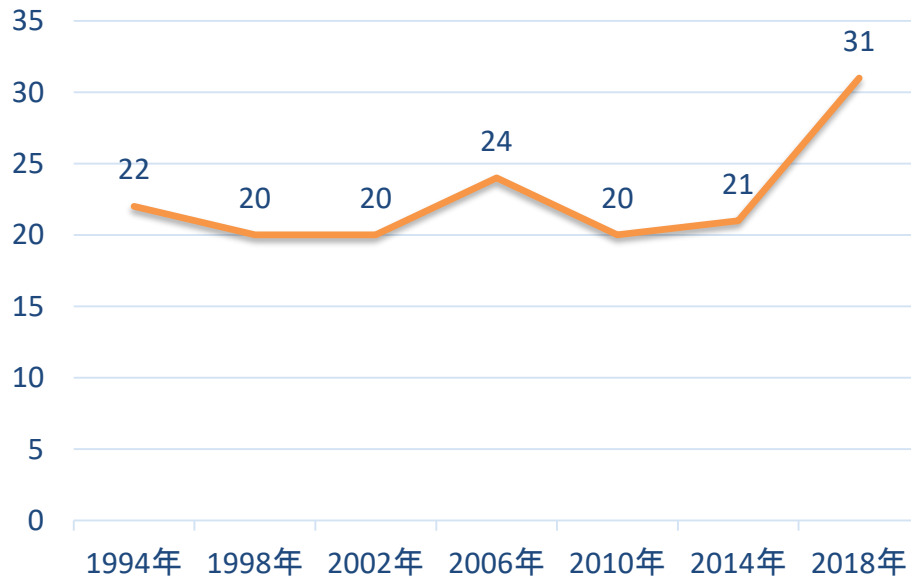
| 【人種】             | 民主党      | 共和党      |
|------------------|----------|----------|
| 白人(72%)          | 44%(37%) | 54%(57%) |
| 黒人(11%)          | 90%(89%) | 9%(8%)   |
| ヒスパニック系<br>(11%) | 69%(66%) | 29%(28%) |
| アジア系(3%)         | 77%(65%) | 23%(27%) |
| その他(3%)          | 54%(56%) | 42%(36%) |

| 【白人福音派】      | 民主党      | 共和党      |
|--------------|----------|----------|
| 福音派(26%)     | 22%(16%) | 75%(80%) |
| 福音派ではない(74%) | 66%(60%) | 32%(34%) |

## 若年層の動向

- ・若年層の投票率は通常低いが、CIRCLEによると、今回、31%を記録。前回2014年から10ポイントも上昇。
- ・銃の問題に対する関心の高さが若者の投票率を押し上げる要因の一つに。
- ・若年層の67%が民主党に投票。接戦の上院選・知事選でも、6割以上が民主党候補に投票。テキサスでは71%、ジョージアでは64%。

若者(18-29歳)の投票率(単位: %)



( ): 2016年の出口調査

| 【若者(18-29歳)】 | 民主党      | 共和党      |
|--------------|----------|----------|
| 全米           | 67%(55%) | 32%(36%) |
| テキサス         | 71%(55%) | 29%(36%) |
| フロリダ         | 61%(54%) | 37%(36%) |
| ジョージア        | 64%(63%) | 35%(33%) |
| ネバダ          | 66%(52%) | 30%(35%) |

出典: 出口調査(CNN資料)をもとに作成

出典: CIRCLEのデータをもとに作成

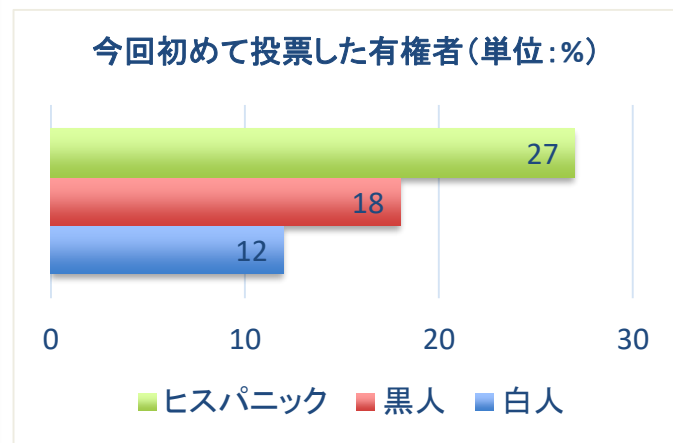
## ヒスパニック系有権者の動向

- ・通常はヒスパニック系の投票率も低いですが、今回、このグループの関心も非常に高く、投票したヒスパニック系は全有権者の11%に達した。
- ・今回、初めて投票した有権者の27%はヒスパニック系。
- ・ヒスパニック系の69%が民主党を支持。ヒスパニック系人口が多く、接戦となった上院選・知事選でも6割余りが民主党候補に投票。テキサス(64%)、ネバダ(67%)、アリゾナ(70%)など。

( ): 2016年の出口調査

| 【ヒスパニック系】 | 民主党      | 共和党      |
|-----------|----------|----------|
| 全米        | 69%(66%) | 29%(28%) |
| テキサス      | 64%(61%) | 35%(34%) |
| フロリダ      | 54%(62%) | 44%(35%) |
| ネバダ       | 67%(60%) | 30%(29%) |
| アリゾナ      | 70%(61%) | 30%(31%) |

出典: 出口調査(CNN資料)をもとに作成



出典: 出口調査(NBC News資料)をもとに作成

## 白人有権者の動向(1)

- ・白人の共和党支持の傾向は依然として強いものの、ブルッキングス研究所の調査(次頁)が示しているように、今回白人有権者における両党支持の差が縮小。
- ・「大卒白人」の民主党支持が増加、「大卒白人女性」において顕著。下院選挙で郊外選挙区の多くを民主党が奪取することができた要因の一つ。これらのグループは、トランプ大統領の女性蔑視の言動などに嫌悪感。
- ・「非大卒白人」の共和党支持は引き続き高い水準にあるが、減少していることも事実。

( ): 2016年の出口調査

| 【学歴】  | 民主党      | 共和党      |
|-------|----------|----------|
| 大卒白人  | 53%(45%) | 45%(48%) |
| 非大卒白人 | 37%(29%) | 61%(66%) |

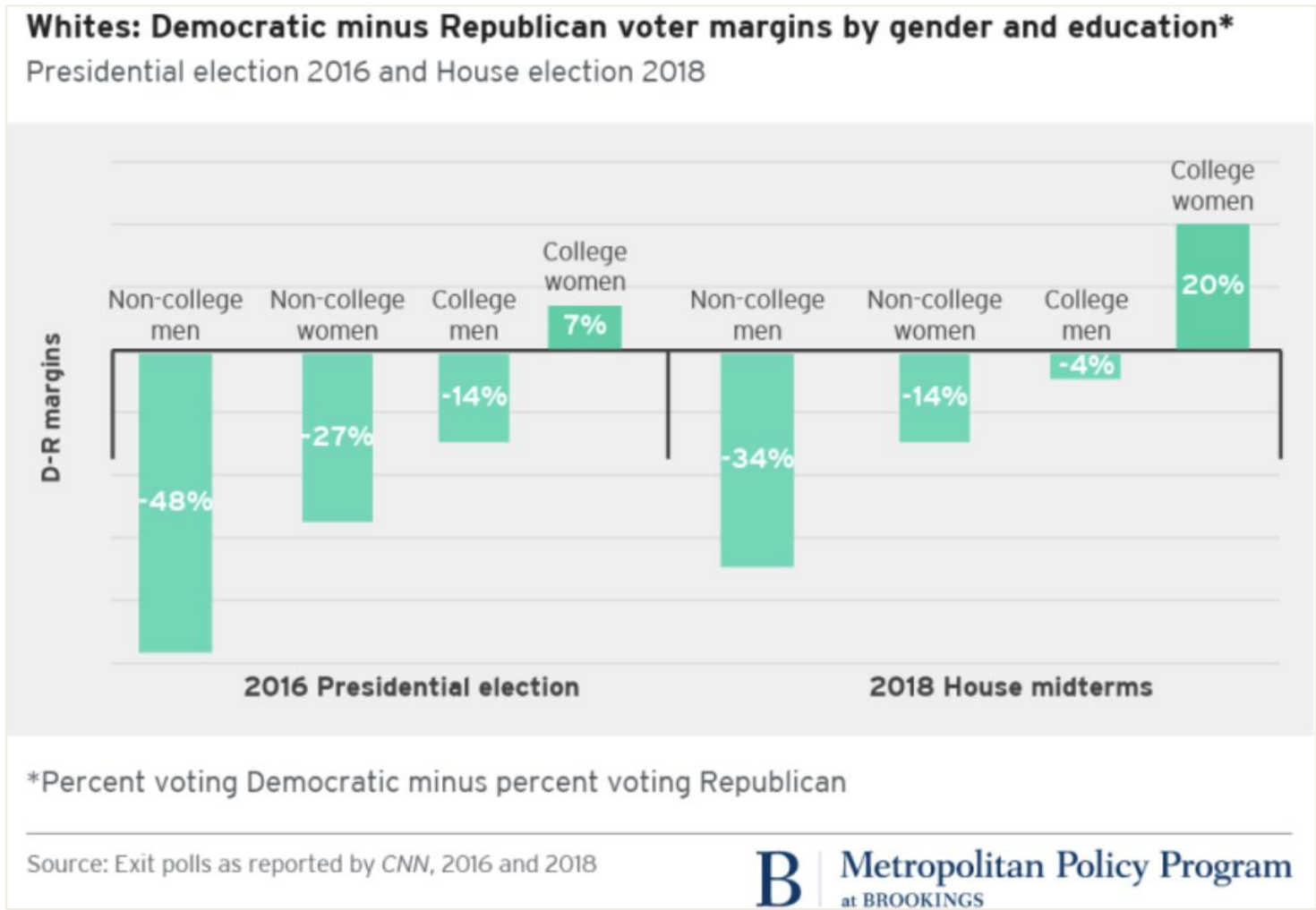
| 【学歴・性別】 | 民主党      | 共和党      |
|---------|----------|----------|
| 全体      | 44%(37%) | 54%(57%) |
| 大卒白人女性  | 59%(51%) | 39%(44%) |
| 大卒白人男性  | 47%(39%) | 51%(53%) |
| 非大卒白人女性 | 42%(34%) | 56%(61%) |
| 非大卒白人男性 | 32%(23%) | 66%(71%) |

出典: 出口調査(CNN資料)をもとに作成



## 白人有権者の動向(2)

【白人有権者(学歴・性別)における両党支持の差(民主党支持率から共和党支持率を引いた数字)】



## 白人有権者の動向(3)

・2016年大統領選の勝敗を事実上分けた、ペンシルベニア、ミシガン、ウィスコンシンといった州においても、民主党を取り巻く状況は改善されているように見える。

( ): 2016年の出口調査

### 【ペンシルベニア】

|         | 民主党      | 共和党      |
|---------|----------|----------|
| 白人      | 49%(40%) | 50%(56%) |
| 大卒白人女性  | 69%(55%) | 31%(41%) |
| 大卒白人男性  | 52%(39%) | 47%(56%) |
| 非大卒白人女性 | 48%(38%) | 52%(58%) |
| 非大卒白人男性 | 36%(26%) | 63%(71%) |

### 【ミシガン】

|         | 民主党      | 共和党      |
|---------|----------|----------|
| 白人      | 46%(36%) | 52%(57%) |
| 大卒白人女性  | 62%(50%) | 36%(44%) |
| 大卒白人男性  | 42%(36%) | 55%(58%) |
| 非大卒白人女性 | 48%(38%) | 51%(57%) |
| 非大卒白人男性 | 39%(24%) | 59%(68%) |

### 【ウィスコンシン】

|         | 民主党      | 共和党      |
|---------|----------|----------|
| 白人      | 45%(42%) | 54%(53%) |
| 大卒白人女性  | 60%(60%) | 39%(37%) |
| 大卒白人男性  | 43%(46%) | 56%(46%) |
| 非大卒白人女性 | 43%(40%) | 56%(56%) |
| 非大卒白人男性 | 39%(26%) | 59%(69%) |

## 2020年に向けて：民主党内の現状

\* 2020年に向けた民主党の政権奪回戦略をめぐり、二つのグループが台頭

- ・2016年にクリントンが敗北したのはペンシルベニア、ミシガン、ウィスコンシンを落としたからであり、これらを取り戻すことこそが政権奪回への近道、そのために穏健な候補を擁立すべきといった声。
- ・これら州で民主党が上院選・知事選を全勝したことや、白人有権者の間で変化が生じつつある現状を考えれば、十分取り戻せると認識。民主党中道系の専門家やシンクタンク関係者が主張。



- ・これに対して、「サンベルト」に向かうべきといった声も拡大。テキサスの上院選や、ジョージア及びフロリダの知事選のように、若者やヒスパニックらマイノリティを中心に動員することに成功すれば、サンベルトの「レッド・ステート」を「ブルー・ステート」に変えることは可能、「ラストベルト」の白人労働者に執着すべきではないと主張。
- ・進歩派の活動家や富裕層が提唱。